

# 統合・広域化に向けた千葉県との 協議状況について



令和3年度第1回

千葉市水道事業運営協議会

令和3年8月18日（水）

千葉市水道局

## <国の動き>

平成30年12月 **水道法の一部改正（厚生労働省）**

人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の水道事業が直面する課題に対し、**基盤の強化**を図るため、所要の措置を講ずる。

- (1) **広域連携の推進** (2) 関係者の責務の明確化 (3) 適切な資産管理の推進  
(4) 官民連携の推進 (5) 指定水道給水装置工事事業者制度の改善

平成31年 1月 **水道広域化推進プランの策定を要請（厚生労働省）**

市町村等の水道事業の広域化の取り組みが推進できるよう、都道府県に対して、**令和4年度までに「水道広域化推進プラン」の策定を要請した。**

## <県の動き>

令和1年 9月 **千葉県版水道ビジョン**

県は、県内水道が目指すべき目標を掲げ、それを実現するための「千葉県版水道ビジョン」を策定した。

<統合・広域化の内容>

県営水道が給水している地域の末端給水事業について、「県と市が給水している市がある一方、県のみが給水している市があり、各市の水道事業に対する関わり方も異なっていることから、これまでの経緯や県と市の役割分担を踏まえながら、地域の水道事業の在り方について、関係市と十分に対話を行いながら検討を行っていく。」とした。

令和1年  
↓  
令和4年 **水道広域化推進プラン策定**

県は、統合・広域連携による水道事業の運営基盤強化を図る必要があるため、「千葉県版水道ビジョン」の統合・広域連携に係る基本的な考え方を踏まえて、「水道広域化推進プラン」を策定するとしている。

- ・ **県知事と市町村長との意見交換会【1回/年開催】**

県営水道との統合パターンを確実に水道広域化推進プランへ反映させることを要望しているが、県は関係11市が県営水道を理解・納得できる形を目指し、各市から丁寧に意見を伺いながら協議を進めていくとしている。

- ・ **県市間の行政課題等の説明会〔市長、市内選出県議〕【1回/年開催】**

県営水道との統合パターンが水道広域化推進プランで検討されるよう、お力添えをお願いした。

- ・ **県営水道給水地域における実務担当者検討会議【5回開催】(R2.3月～R3.3月)**

本地域における水道事業の在り方について、県と県企業局及び本市を含む県営水道供給区域11市で意見交換を行い、水道広域化推進プランの統合パターンの検討を行ってきた。



各市の置かれた立場や課題が異なるため、統合・広域連携の実現には相当の期間を要することが予想される



知事と市長のトップ同士が直接意見交換することで解決に向けた道筋をつけていく

知事と市長のトップ会談で、特に調整が必要な事項について方向性を示し、行政の効率化や課題の早期解決を目指す会議が7月21日(水)に、県庁本庁舎で開催され、水道事業が優先テーマの一つとして、協議された。

## 千葉市長からの協議内容

＜千葉市の現状＞

- ・市街化調整区域などの経営効率の低い地域への供給  
(市域面積:県水70% 市水30% 給水人口:県水95% 市水5%)
- ・市民負担の公平性を図る観点から、県営水道と同じ料金体系で一般会計からの繰入金によって賄う厳しい経営状況
- ・県市間で予定している共同浄水場が建設に至らず、未活用水源の費用と受水費の二重負担
- ・市営水道の必要水量の約90%は県営水道から受水し、配水管もつながった統合し易い環境下 など



**速やかに県営水道と市営水道との事業統合の方向性を示して頂くよう要請**

## 千葉県知事からの回答

広域的な観点に基づき、他地域にも理解される形での解決策の検討を進めており、今後、具体的な協議を進めていく。

千葉県と千葉市の連携推進会議の結果を踏まえて、事業統合を視野に入れて、現在の枠組みの中でも実現可能な広域連携案や統合による効果額の精査などについて、県と具体的な協議を進める。

また、併せて本市が示す統合パターンを確実に『水道広域化推進プラン』へ反映するよう、引き続き求めていく。